

～ ジュニアの自主性や自己判断能力の向上を実践するために開催します！ ～

～ 大好きな運動で、心身の発達を助長し、様々なストレスを解消させます ～

ジュニアオープン SpringⅡ 2026 開催要項

- 1 主 催 ジュニアの発達段階を支援する 一般社団法人 J S T C
- 2 協 賛 ナガセケンコー株式会社 ゴーセン株式会社
- 3 期 日 令和8年4月12日(日) 8時～18時 男子ダブルスの部 (※8時からです。)
※小雨決行します。中止等の決定は、当日会場にて行います。
- 4 会 場 岩手県営テニスコート(人工芝コート8面)
盛岡市みたけ1丁目 10-1 TEL019(641)1127 管理事務所内
受付 8時00分から 試合開始 8時50分
練習 8時00分から8時40分までの間で、受付順により各団体等15分程度割当てします。
受付が遅い場合は割当てできない場合があります。
- 6 種 別 各リーグ戦による個人戦
- 7 参加資格 次の各号の要件を具えている選手に限ります。
 - (1) 主催者から開催案内があった団体及びクラブ又は個人に限ります。
 - (2) 2026年度中学生で審判ができる者。なお、主催者が認める小学生も含みます。
 - (3) 選手の自主性や進行の都合により、ベンチコーチは認めませんので、試合及び審判ができる選手に限ります。(ベンチ待機や試合のためコートに促される呼び出しをされない選手に限ります。)
 - (4) 選手は、背中に姓名の入ったゼッケンを付けること。姓名の他にクラブ団体のチーム名が入ったものでも可とします。ゼッケンはB5版横長サイズとします。必ず付着すること。
 - (5) Jr-open 規程(HPに掲載)を順守できる者 ※例*表彰式や閉会式まで残ること
- 8 試合方法
原則7組の各リーグ戦とします。17時30分までたくさん試合をします。
但し、参加組数で各リーグの組数が変動します。ゲームは原則7ゲームとします。ノーアドバンテージルールを採用する場合があります。
- 9 審 判 各リーグの待機選手とします。
- 10 組合せ 主催者で編成します。(※力量別に編成するので、申込書に昨年度の主な成績等を記載してください。)
- 11 使用球 ケンコーボール
- 12 表 彰 全員を表彰します。(リーグごと)
- 13 参加料 1人1,500円(参加賞等込み) 大会当日納入してください。
※諸物価の値上げ等により、1人1,500円の参加料になります。
*①天候上の都合等いかなる場合においても参加料は返戻いたしませんので、了解の上申込みください。
*②大会当日欠場の場合も納入ください。

14 参加申込み

3月23日(月)17時までに、FAX又はメールにて申し込みください。(厳守)

※学年は令和8年度で記入願います。

○FAX 019-613-6224 (※必ず、FAXしたとの連絡を携帯電話にすること!)

○mail isya_jstc@yahoo.co.jp

問い合わせ 大会事務局 一社)JSTC 吉田洋一 まで TEL(携帯)090(2790)5389

その他 ○ベンチコーチはありません。試合中のフェンス越しや観戦内のコーチングも禁止します。
○応援は拍手のみです。声での応援は禁止します。会場でのラケット振りやボール打ちは禁止です。
○Jr-open は、休日の中学生や高校生の部活動の地域展開を先行したものです。また、子どものこれからの学習における「主体的・対話的で深い学びの実現」や「子どもの勇気づけ」を実践する場です。
○中学生の参加は、推薦された団体や個人です。なお、推薦の案内がない団体や個人は、主催者からの承認の下に参加できます。「お問い合わせ」先までご連絡ください。

○中学生は、リーグ戦とトーナメント戦どちらにも参加することが参加の条件です。

○高校生の参加はフリー（オープン扱い）です。問い合わせ後、申し込み締め切りまでに申し込みください。

○小学生は、当法人が認めた小学生に限ります。

※1 駐車場について

○太田テニスコートの駐車場は、第1・2・3駐車場を利用してください。屋内テニスコート（事務所）敷地内の11から14コート向いの駐車場には駐車できません。

○県営運動公園テニスコートの駐車場は、運動公園南側の南駐車場を利用してください。運動公園事務所付近の駐車場には駐車できません。

※2 禁煙について

太田テニスコート及び県営運動公園テニスコートでの喫煙は禁止です。会場及びその周辺においても禁煙とします。

【中学校及び高校の部活動が地域へと展開される】 学校主体から、子どもたちの主体性へ

中学校の部活動が、学校から地域へと展開されます。まず、休日の部活動が地域へと展開されます。子どもたちは、自分で選択して、自分が主体的に決めて、自分の時間を過ごす新しい部活動の始まりです。つまり、部活動は学校主体から、子どもたちの自分本位の取り組みに変わります。Jr-openは、子どもたちが主体的に行われており、たくさん試合ができるリーグ戦の導入や力量別リーグ戦など地域展開で要求されているものを先行したものです。Jr-openは、今後ともこの新しい休日の部活動の地域展開を支援する取り組みを行います。

また、高校においても部活動が地域展開される見込みですので、当法人は高校生の休日の部活動の地域展開を支援します。

よって、Jr-openは生徒の自発性を尊重し、たくさん及び力量別のリーグ戦など生徒の主体性を実践する大会です。